

製品名: クローディン 10 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08901

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN10
別名	CLDN10; Claudin-10; OSP-like protein
遺伝子 ID	9071.0
SwissProt ID	P78369
免疫原	抗血清はヒトクローディン 10 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 179-228

背景

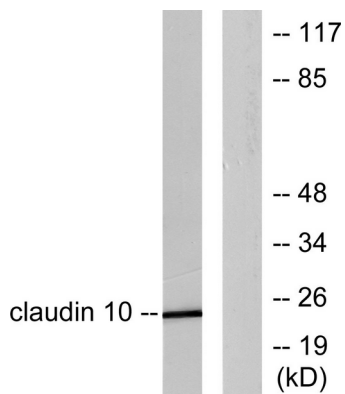
この遺伝子はクローディンファミリーのメンバーをコードします。クローディンは膜貫通タンパク質であり、タイトジャンクション鎖の構成要素です。タイトジャンクション鎖は、上皮細胞シートまたは内皮細胞シート間の細胞間隙を溶質や水が自由に通過するの

を防ぐ物理的な障壁として機能し、細胞極性とシグナル伝達の維持にも重要な役割を果たします。この遺伝子の発現レベルは、原発性肝細胞癌の再発と関連しています。異なるアイソフォームをコードする 6 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されていますが、一部のバリエーションの転写配列は決定されていません。[RefSeq 提供、2010 年 6 月]、機能: カルシウム非依存性細胞接着活性を介して、タイトジャンクション特異的な細胞間隙の閉塞に主要な役割を果たします。類似性: クローディングファミリーに属します。

研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

画像データ



Claudin 10 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。